

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集

中期経営計画におけるシスメックス3つの成長戦略

成長戦略② 新規事業の拡大 5ページ



手術支援ロボットの販売承認を取得したマレーシア → 5ページご参照

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
 ※2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときにそのコストを費用として認識する方法に変更しています。

売上高、営業利益、 四半期利益 いずれも過去最高を 達成しました。



代表取締役社長

浅野 董

あさの かおる

【出身地】兵庫【略歴】大学院を卒業後、川崎重工業株式会社に入社。その後、1987年東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社し、2009年執行役員中央研究所所長、2017年取締役専務執行役員を経て、2023年現職に就任。【趣味】陶芸、将棋【信条】雲外蒼天

ポイント1 売上高は、新興国をはじめ、全地域で好調に推移し、増収

ポイント2 営業利益は、増収による粗利益の増加により、大幅増益

ステークホルダーの皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2025年3月期第2四半期の業績は、新興国などでヘマトロジー分野が伸長するなど、全地域で増収しました。営業利益は増収および原価率の改善により、大幅に増益となり、四半期利益*も増益となりました。売上高は前年同期比14.0%増、営業利益は同31.6%増、四半期利益は17.2%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比8.0%増、営業利益は同14.9%増となります。

事業別に見ると、ダイアグノスティクス事業は、ヘマトロジー*・血液凝固・免疫分野などを中心に伸長し、増収を達成しました。ヘマトロジー分野では、日本およびEMEAにおいてフラッグシップモデルの販売が好調に推移したことに加え、直接販売を開始したサウジアラビアなどで試薬の売上が2桁伸長となりました。また、血液凝固分野は、直接販売を開始したEMEAで伸長したほか、インドや東南アジアなどAPにおいて好調に推移しました。また免疫分野も、APでの機器・試薬が2桁伸長となり、増収を達成しました。

メディカルロボット事業は、順調に採用が進み、第2四半期末時点で導入台数が64台となり日本における存在感が出てきました。また、株式会社メディカロイドはシンガポールに続き、2024年8月にマレーシアにおける販売承認も取得し、海外市場への導入準備が着実に進んでいます。

2025年3月期の連結業績予想につきましては、原価率の改善などにより、通期の営業利益を30億円上方修正し900億円としました。売上高、当期利益については5月に公表した数値から変更はありません。

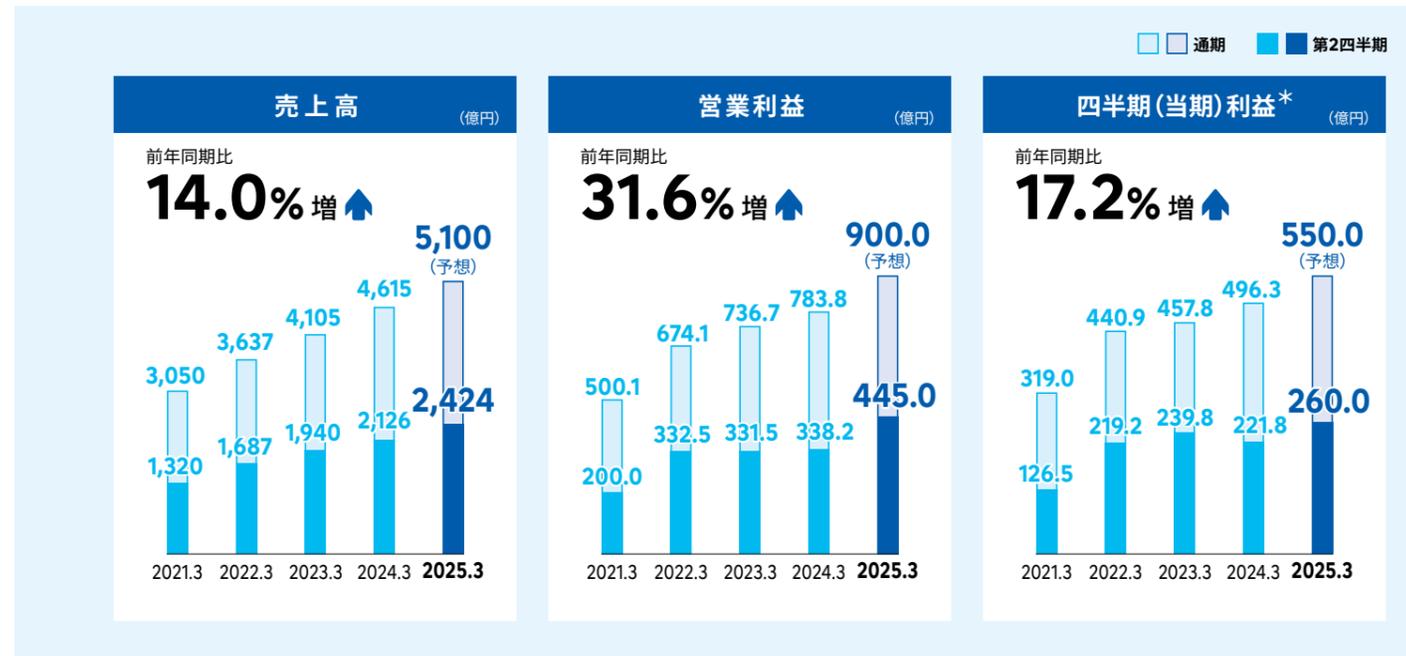
配当につきましては、期初予想通り、1株につき年間で30円(中間15円、期末15円)を予定しております。

ステークホルダーの皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

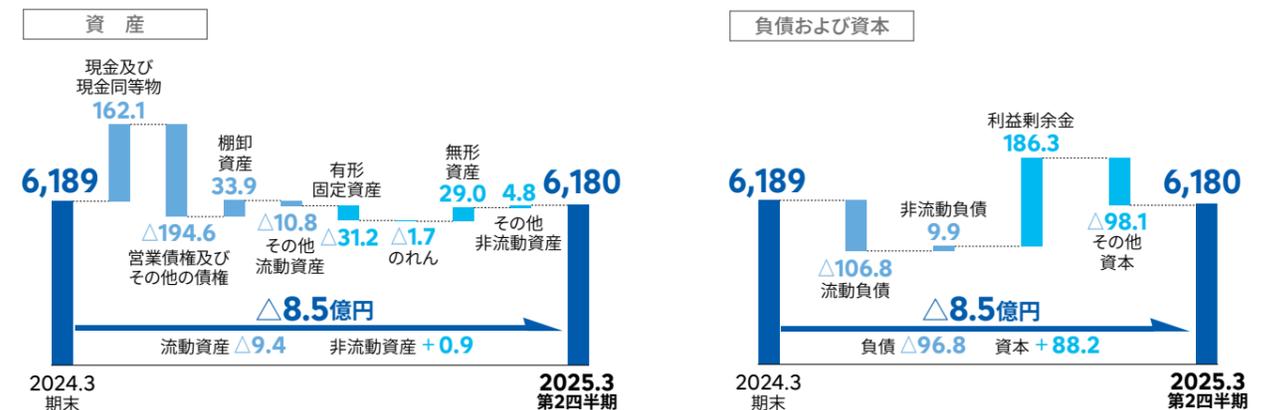
	■2025年3月期通期業績予想 (億円)			■想定為替レート (円)		
	売上高	営業利益	当期利益	1USDドル	1ユーロ	1中国元
2024年11月発表	5,100	900	550	149.8	162.0	20.8
2024年5月発表	5,100	870	550	147.0	158.0	20.4
【参考】 2024年3月期実績	4,615	783	496	144.6	156.8	20.1

青字：期初公表(2024年5月)からの変更箇所

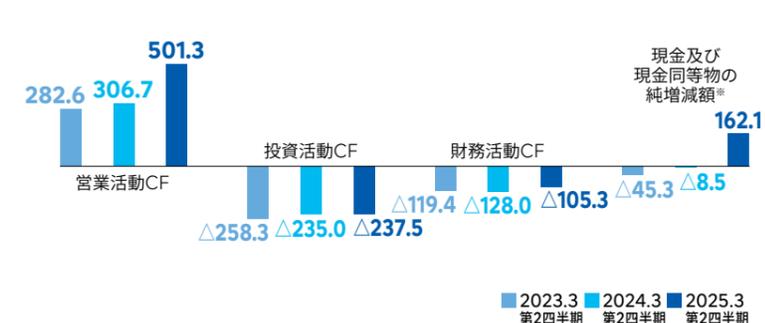
*四半期(当期)利益:親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益。



連結財政状態計算書の増減要因 (億円)



キャッシュ・フローの推移 (億円) ※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



1株当たり配当金/配当性向

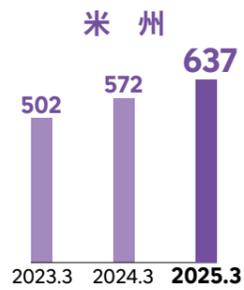
※2024年4月1日分割後ベースに換算



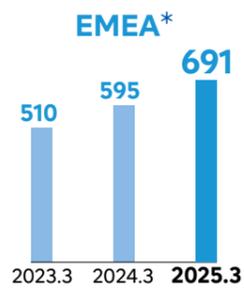
利益配分(配当)に関する考え方について: 当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

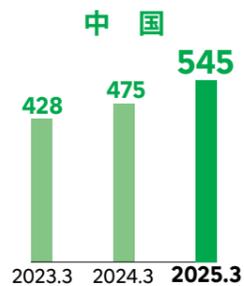
地域別売上高 (億円)



前年同期比 **11.4%増** ↑
 現地通貨ベース **3.1%増**
 機器売上は一時的な納品タイミングの遅延などにより減収。試薬売上はヘマトロジー*や尿分野の機器設置台数増加に伴って2桁伸長し、増収。



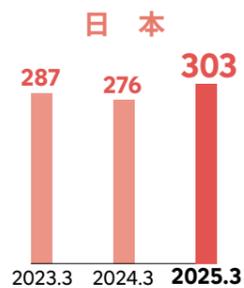
前年同期比 **16.0%増** ↑
 現地通貨ベース **7.2%増**
 機器売上は尿分野が一時的に減収となるも、試薬売上はヘマトロジー・尿・血液凝固分野を中心に2桁伸長し、増収。



前年同期比 **14.8%増** ↑
 現地通貨ベース **8.0%増**
 機器売上は現地生産品の売上が増加するも、1Qの影響により減収。試薬売上はヘマトロジー・血液凝固分野を中心に好調に推移し、全体として増収を達成。

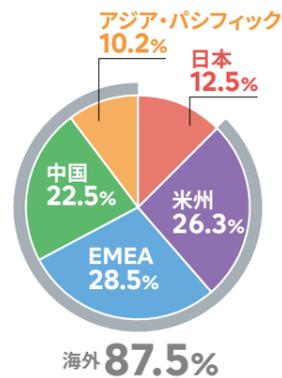


前年同期比 **19.5%増** ↑
 対前年+35%の伸長したインドをはじめ、各国の需要が強く、全分野において2桁伸長。機器、試薬、サービスのいずれも2桁伸長を達成。



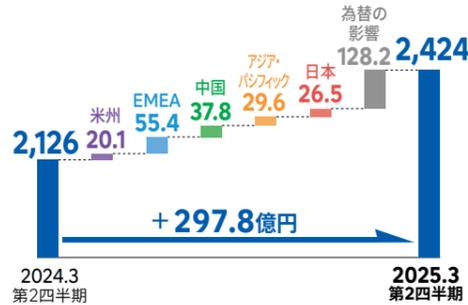
前年同期比 **9.6%増** ↑
 ヘマトロジー分野の機器の伸長に加え、血液凝固・免疫分野の試薬も伸長。さらに、メディカルロボット事業も好調に推移し、2桁増収を達成

地域別売上高構成比



地域別売上高の増減 (億円)

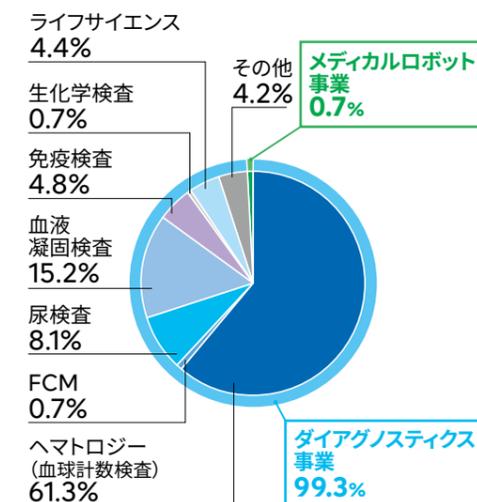
※各地域の売上高は為替の影響を除く



■為替レート(期中平均) (円)

	2023.3 第2四半期	2024.3 第2四半期	2025.3 第2四半期
1 USドル	134.0	141.0	152.6
1 ユーロ	138.7	153.4	166.0
1 中国元	19.9	19.8	21.2

事業別売上高構成比



シスメックスレポート2024に、一部従業員のインタビューを掲載しています。ぜひご覧ください>>

より良いヘルスケアジャーニーの実現をめざして

シスメックスは2033年を最終年度とする長期経営戦略において、新たなビジョン「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに」を掲げています。今年度、この取り組みとサステナビリティ経営の強化に向けて、グループ表彰制度「シスメックスグループアワード」を見直し、環境や社会への価値提供に対する表彰などを新設しました。ここでは、ビジョンの実現に向けて真摯に取り組み、アワードを受賞した従業員とその取り組みをご紹介します。

アルツハイマー病血液検査試薬の開発による認知症治療への貢献

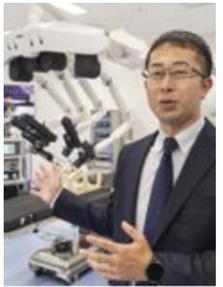
アルツハイマー病の原因物質とされている脳内アミロイドβの蓄積状態を調べる血液検査試薬の開発に成功しました。この試薬は患者負担が少なく、早期診断を促せるほか、将来的には予防にもつながるとして、高い期待が寄せられています。また、血液で測定が可能なユニーク項目として、グローバルな競争力を強化するとともに、世界中の患者さまに貢献できると考えています。



中央研究所
山下 和人

手術支援ロボットシステムのITサービスによる競争優位性の確立

ロボットのデータをリアルタイムに取得、稼働状況を把握してコールセンターがトラブル対応できる仕組みを構築したことで、医師がより安心して手術に臨める環境を提供しています。さらに高度な手術手技を数値化・可視化することで、後進の育成や将来的なAIナビゲーションサービスへの展開が期待されています。本件では新機能を早期に知的財産化し、将来に向けた競争優位性の獲得を進めています。



グローバルマネジメント本部
本橋 政尚



尿検査分野試薬の製造過程における廃棄量削減による環境負荷低減

尿検査試薬の製造工程では、異なる比重の粒子が均一になるよう攪拌し、容器に充填する必要があります。従来では、充填終盤になると攪拌ができず不均一になってしまうことから、年間約1トンの廃棄が発生していました。これを解決するため、混合タンクや攪拌翼の形状、攪拌速度を見直し、最適化を行いました。その結果、常に均一な混合状態を維持できるようになり、廃棄物ゼロおよび、大幅なコスト削減を実現しました。



診断薬生産本部
木幡 紀子

肝臓の線維化マーカーの臨床価値拡大と肝疾患患者への貢献

シスメックスのユニーク項目である肝臓の線維化マーカーは肝臓がどれくらい硬くなっているかを調べるための血液検査項目であり、肝臓の病気の進行度を調べる目的において、患者負担が少なく有用とされています。日本ではすでに導入が開始されている検査項目ですが、このたび韓国でも多くの肝疾患領域の医師から評価され、保険適応項目となりました。今後も海外への普及や臨床価値拡大に向けた取り組みを進めていきます。



Sysmex Korea Co.,Ltd.
Kim Sujung

中期経営計画におけるシスメックス3つの成長戦略

成長戦略② 新規事業の拡大

シスメックスは中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）において、さらなる成長へ向けた3つの戦略を発表し、それらの達成に向けて取り組んでいます。シリーズ第2弾となる今号では、「新規事業の拡大」についてご紹介します。シスメックスは長期ビジョン「より良いヘルスケアジャーニーを、ともに。」の実現に向け、主力の検体検査事業に加え、メディカルロボット事業や再生細胞医療など、今後さらなる医療ニーズの拡大が期待される新たな事業の拡大・強化を進めています。

前回の株主通信にてご紹介

成長戦略 1

既存事業の強化

ヘマトロジー・尿検査に加え、血液凝固検査・免疫検査・ライフサイエンス分野の強化による売上の伸長・収益性の改善

今回ご紹介するのはこちら

成長戦略 2

新規事業の拡大

メディカルロボット事業および再生細胞医療など新たな事業を拡大・強化

次回の株主通信にてご紹介

成長戦略 3

新興国戦略

経済水準・医療品質の向上により、市場成長が見込まれる地域へ積極投資し、機会を獲得

メディカルロボット事業

市場環境

身体負担の少ない手術法として拡大

近年、外科手術では、身体への負担を軽減する手術が進展し、体内の狭い空間でも精緻で安定的な作業を可能にする手術支援ロボットのニーズが拡大しています。さらに遠隔手術への活用などが進むことで、先進国だけでなく、新興国にも高品質な医療を提供できるようになると期待が高まっています。グローバルの市場規模は、2030年には現在の約3倍となる約3兆円^{※1}まで成長すると予測されています。^{※1}: メディカロイド社予測 (1USD = 157円換算)

シスメックスの取り組み

国内を中心に着実に稼働台数を拡大

産業用ロボット分野でグローバルに活躍する川崎重工業株式会社とヘルスケア領域の知見を持つシスメックスがタッグを組み、日本発の手術支援ロボットシステムを世界へ展開しようとしています。シスメックスは、株式会社メディカロイド^{※2}のグローバル総代理店として、2020年より手術支援ロボットの販売・サービスを推進しています。現在、日本国内で60台以上が導入され、6,000症例以上の手術に利用されるなど、着実に稼働台数を伸ばしています。また、発売時は泌尿器科のみでの保険適用でしたが、現在では、保険適用のロボット支援下手術の術式において、8割以上が本製品で手術可能となっています。(2024年9月末時点)

海外展開の準備も進めており、2024年にシンガポール、マレーシアにおける販売承認を取得しました。今後はアジアから海外展開を進め欧米市場への参入も計画しています。

^{※2}: シスメックスと川崎重工業株式会社の合併会社

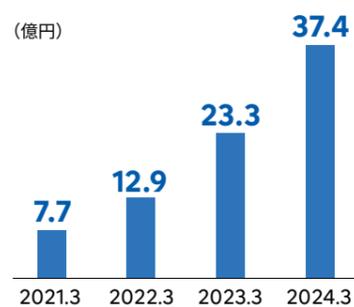


手術支援ロボット

遠隔医療の実用化にもチャレンジしています! 2023年にシンガポールと愛知の2拠点間で、遠隔手術の実証実験に成功

メディカルロボット事業売上推移

(億円)



日本国内で保険適用となっているロボット支援下手術の術式数とメディカロイド社製品が認可を取得、活用されている術式

診療科	泌尿器科	消化器外科	婦人科	呼吸器外科	心臓外科	耳鼻咽喉科	合計
保険対象術式数	8	11	4	5	2	2	32術式
認可取得済み (メディカロイド社)	← 現在保険適用が認められている術式のほとんどをカバーし、数多くの手術を行っています。 →						28術式

現在保険適用が認められている術式のほとんどをカバーし、数多くの手術を行っています。

再生細胞医療

市場環境

これまでの常識を覆す新たな治療法として期待

再生細胞医療は、自己免疫疾患の治療やがん治療など、これまでの医薬品では治療が難しかった病気への新たなアプローチとして、大きな可能性を秘めています。特に、幹細胞やiPS細胞を使った治療法の研究が進んでおり、これらの技術は医療の未来を大きく変えると期待されています。再生細胞医薬品のマーケットは2030年に4兆円を上回ると予測され、高い成長率が見込まれています。

再生細胞医薬品の世界市場予測



シスメックスの取り組み

独自技術で製造プロセスの課題解決を

シスメックスは、2022年JCRファーマ株式会社と合併で設立したAlliedCel株式会社や2023年からグループに加わった株式会社メガカリオンとともに新たな治療薬の創出を目指しながら、これまで検体検査事業で培ってきた分析技術、品質管理や自動化のノウハウを駆使して、製造プロセスの自動化や品質管理の効率化に挑戦しています。これは再生細胞医療の発展において非常に重要な取り組みであると考えています。

具体的な成果として、特定のタンパク質を測定し、作製した細胞が体内で適切に生着・機能しているかを評価する研究用試薬の販売を開始しました。これにより手作業が中心だった煩雑な作業を、当社の免疫分析装置で自動測定できるようになりました。現在は、グループ内の研究開発のみならず、大学や企業でご使用・ご好評をいただいています。これらの取り組みを通じて、再生細胞医療の研究や細胞製造における品質管理試験の効率化・標準化に貢献していきます。

再生細胞医療の課題

- 煩雑な製造工程がコストを底上げ
- 製造の属人性による品質の不安定さ
- 細胞製造従事者の不足

製造コスト全体に占める労務費の割合と内訳^{*} (CAR-T細胞^{*}製造の例)



^{*}出所: V. Papavasileiou et.al (2007), K. Spink and A. Steinsapir (2018)

製造・品質管理にシスメックスの技術を活用

製造コスト低減・品質の向上

再生細胞医療の拡大へ

Next Report

次回の株主通信では、「新興国戦略」についてご紹介します。どうぞ楽しみに!

^{*}CAR-T細胞: キメラ抗原受容体遺伝子改変T細胞の略称で、がん細胞などを認識するために遺伝子改変した細胞を示す



掲載しております2次元コードは、
カメラの画面で2次元コードを映し、リンクをタップしてください。

迅速薬剤感受性検査システムが 英国最大の科学賞

「Longitude Prize on AMR」を受賞

従来の細菌感染症診療フローの変革に挑戦し、世界的課題である薬剤耐性 (AMR) 対策に最も貢献したイノベーターとして、同賞を受賞しました。これは非常に名誉なことで、2014年11月の同賞開設以来、世界中から250以上の応募が寄せられ、Sysmex Astrego ABが唯一選出されました。今後も迅速薬剤感受性検査システムの市場導入や対象疾患の拡大に向けた取り組みを加速させていきます。



詳細は
こちらから



右より
Sysmex Astrego AB CEO
のMikael Olssonと
Deputy CEOのMike Read

Web サイトリニューアルページのご案内

ステークホルダーの皆さまに事業内容、当社の強み、成長戦略などをより分かりやすくお伝えるためにWebサイトを一部リニューアルいたしました。ぜひご覧ください。



「よくわかるシスメックス」は
こちらから



「第12回神戸マラソン」を応援

2024年11月に開催された「第12回神戸マラソン」に特別協賛しました。シスメックスは、第1回より継続して特別協賛しています。



株主様アンケートの お願い

今後の充実したIR活動に向けて、アンケートへのご協力をお願いいたします。



パソコン、スマートフォンから
ご回答をお願いいたします。

<https://q.sysmex-survey.com/1517012035/>



会社概要

(2024年9月30日現在)

■商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION
■設立年月日	1968年2月20日
■資本金	147億3,212万円

■格付け	AA- (R&I:格付投資情報センター)
■従業員数	11,318名(連結) 3,380名(単独) *嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容	臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス
www.sysmex.co.jp/ir/stocks_bonds/notice.html

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

